

1ねん学年だよ!!

平成31年2月1日(金) 第42号



[コミュニケーション]のお話

毎週水曜日の朝におこなわれる学年集会。毎週、先生たちの誰かがお話をすることになっています。週によって、いろいろなお話を聞くことができるのも楽しみのひとつとしてほしいのですが、みんなは、朝いちばんからしっかりと話を聞いているでしょうか。落ち着いて話を聞いてほしいのですが、残念ながら、ギリギリの時間に登校して体育館に駆け込んでくるような人や、ちょっと眠たそうな人がいるのも事実です。先生たちは、61期生みんなの前で“独り言”を話しているのではなく、その日のために、話す内容を何日も前から考えて準備をしているのです。

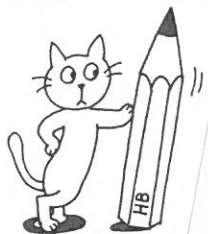
「話をする・話を聞く」、コミュニケーションとは何なのでしょう？



コミュニケーションとは、一般に「意思疎通」、「気持ちの伝え合い」などと訳されます。つまり、AさんとBさんの2人がコミュニケーションをとる場面であれば、どちらか一方だけが話していてもダメです。Aさんが話せば、それに対してBさんが“反応する”ということが必要です。別に関連した話をしなくても、たとえば「返事をする」、「うなずく」といったことも反応のひとつです。必ず**相手があってこそ**成立するのがコミュニケーションであって、それは誰か独りだけでは成立しません。友だちと登下校の最中にする“おしゃべり”も、つい熱くなりすぎて起こってしまう“ケンカ”も、相手があってこそ成立するコミュニケーションのひとつです。さらにいえば、学年集会の“お話”や毎日の“授業”もコミュニケーションだといえます。そう考えると、ただ黙って授業を受けているのが決してよくないのも理解できるのではないのでしょうか。



「あの人は話を全然聞いてくれない(わかってくれない)！」といって嘆いている人がいますが、それは、聞いている相手だけではなく、話をしている自分の側にも原因はないのでしょうか。いずれにせよ、相手が自分の気持ちを理解してくれないとき、自分は少しも悪くなくて「相手が100%悪い」ということはほとんどありません。気持ちが相手にうまく伝わらないとき、自分の方にも何か改善すべきことがあるはずだし、少なくとも「自分にも何か改善すべき点はないだろうか」と、常に自分の言動を振り返る姿勢は必要です。さて、キミはできていますか？



点数の呪縛から解放されよ!



初めての實力テストが返されました。テスト範囲のある中間・期末テストとは違って、實力テストは勉強もしにくいし、それだけに「難しかった」と感じた人が多いようです。確かに、テストである以上、点数は高いほど嬉しいだろうし、少しでも高い点数を取ろうと努力する姿勢は大切です。しかし、点数だけを見て一喜一憂している様子を見てみると、「1点にこだわる」というレベルを乗り越えて、「点数に縛られている」ともいえそうな気がします。

点数を見た後は、いつまでも落ち込んでいないで、自分は何ができてなかったのか、どんなミスがあったのか、これからどんなチカラを身につけないといけないのか、などといったことをきちんと見定めていく必要があります。特に、1年生の時期は、テストを終える^{たび}にそういうことをおこなって、学習の土台を築く時期です。そんなときに、「点数に縛られている」ような姿勢で必要以上にはしゃいだり落ち込んだりして、肝心のふり返りがおろそかになっていないでしょうか。当然ですが、先生たちはすでに2年後のキミたちを見通して学習の計画を立てています。もちろん、1人ひとりの点数の変化を見て、「最近、勉強が足りていないのでは…」などと考えることはありますが、だからといって「この子はダメだ」と見限ることはありません。個人の成績を考えると同時に、61期生全体に必要な学習は何なのか、どんなチカラを身につける必要があるのか、ということを考えています。しっかりと先生たちについてきてください。

2月の予定



- 1日(金) 45分×6限授業
- 4日(月) 全校集会／1限＝木3／6限＝木4／遅刻指導
- 6日(水) 百人一首大会[5・6限]
- 7日(木) 木23456[5限授業]
- 12日(火) 全校集会／中央専門委員会
- 14日(木) 生徒議会
- 18日(月) 月234561[午前45分授業・午後50分授業]
- 19日(火) 火234561[午前45分授業・午後50分授業]
- 20日(水) 学年末テスト①[数学・理科・音楽]
- 21日(木) 学年末テスト②[英語・保健体育・技術家庭]
- 22日(金) 学年末テスト③[国語・社会]
- 25日(月) 全校集会／月234561／人権学習[5・6限]
- 27日(水) 金曜日の時間割
- 28日(木) 選挙管理委員会②／生徒会選挙立候補者打ち合わせ①



保護者のみなさまへ

上にも書きましたが、實力テストが終わり、結果も返されました。定期テストとは性質の異なるテストですが、生徒たちは定期テストと同じような感覚で實力テストと向き合ってしまったようです。点数だけを単純に定期テストと比較していると、肝心のふり返りができません。冷静な反省ができるよう、ご家庭でもお話をしていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

